

回想法センター・2月号

平成29年 1月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

認知症になったらいけないの？

自分らしく暮らしたい

認知症にならないように早期発見、早期予防が大事と様々な取り組みが行われています。今まで何の問題も無くやっていたことが、年とともに出来なくなったり、動作や判断力も鈍くなってきます。体もあちらこちらが痛んだり、記憶もおぼつかなくなってきました。それが老化現象であって、認知症も老化現象の一つだと思うのです。

認知症の検査で落ち込む人、認知症の検査を拒む方など認知症の言葉に振り回されているように感じています。認知症になっても、その人に出来ることがあるように、認知症になっても元気にボランティアを楽しんでいる方もいます。



考え方、見方を変えれば人生は変わります。その人の体に染みついた能力を引っ張りだせる仕組みがあれば、自分らしく輝いて暮らすことが出来ます。置かれた状況を嘆いてばかりではなく、今ある

状況で、認知症の人にも何が出来るのか手助けで来る笑顔屋さんを目指して行きたいです。

こんなところにも影響が

笑顔屋さんのスペースに、お散歩のついでに囲碁や将棋を楽しみながらおしゃべりがはずめばと思って、囲碁と将棋セットが置いてあります。



この頃では、小学生が将棋を楽しんでいる姿が見受けられます。私たちが子供のころは、回り将棋や挟み将棋など将棋のルールが分からなくても将棋の駒が遊び道具になっていました。横町の路地や街灯の下などで、大人が縁台将棋に興じていました。その縁台将棋を大勢のやじ馬が囲み、その手はずいなどヤジが飛び交ってそれはにぎやかでした。

子どもの遊びも個人で楽しむゲームが主流、遊びの世界も大きく変わってしまいました。しかし、新聞、テレビで藤井少年の活躍が大きく報道されるようになり、子供たちも将棋にも目が向くようになったのでしょうか。これもつかの間のブームに終わらず、子供たちの世界に浸透して行くことを願っています。

2月の予定

2月 2日 (金)	認知症家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
2月 8日 (木)	うたごえ広場	2時～4時	ショッピングセンターリブラ1階
2月17日 (土)	川柳カフェ	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
2月21日 (水)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
2月28日 (日)	らんカフェ	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708 担当 赤嶺